

みずほCustomer Desk Report 2019/01/18号(As of 2019/01/17)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	109.00
				GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	109.05	1.1399	124.30	1.2881	0.7170
SYD-NY High	109.40	1.1415	124.67	1.3001	0.7222
SYD-NY Low	108.69	1.1370	123.76	1.2833	0.7147
NY 5:00 PM	109.25	1.1390	124.40	1.2984	0.7193
NY DOW	24,370.10	162.94	日本2年債	-0.1700	▲1.00bp
NASDAQ	7,084.46	49.77	日本10年債	0.0020	▲0.80bp
S&P	2,635.96	19.86	米国2年債	2.57	2.59bp
日経平均	20,402.27	▲40.48	米国5年債	2.57	3.37bp
TOPIX	1,543.20	5.43	米国10年債	2.75	2.32bp
ソコ日経先物	20,540.00	30.00	独10年債	0.2415	1.90bp
ロンドンFT	6,834.92	▲27.76	英10年債	1.33	2.60bp
DAX	10,918.62	▲12.62	豪10年債	2.2830	0.45bp
ハンセン指数	26,755.63	▲146.47	USDJPY 1M Vol	7.17	▲0.47%
上海総合	2,559.64	▲10.79	USDJPY 3M Vol	7.74	▲0.16%
NY金	1,293.40	▲0.40	USDJPY 6M Vol	8.03	▲0.10%
WTI	52.26	▲0.05	USDJPY 1M 25RR	-1.23	Yen Call Over
CRB指数	179.76	0.12	EURJPY 3M Vol	8.42	▲0.18%
ドルインデックス	96.07	0.01	EURJPY 6M Vol	8.73	▲0.09%

【昨日の指標等】

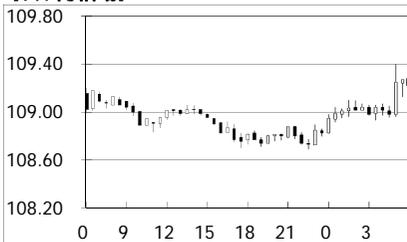
Date	Time	Event	結果	予想
1月17日	19:00	欧 CPI(前月比/前年比)	12月 0.0%/1.6%	0.0%/1.6%
	22:30	米 新規失業保険申請件数	- 213k	220k
	22:30	米 フィラデルフィア連銀景況指数	1月 17.0	9.0

【本日の予定】

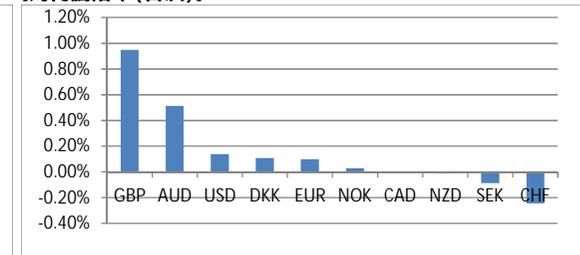
Date	Time	Event	予想	前回
1月18日	8:30	日 CPI/コアCPI/コアコアCPI(前年比)	12月 0.3%/0.8%/0.3%	0.8%/0.9%/0.3%
	18:30	英 小売売上高(除く自動車燃料・前月比/前年比)	12月 -0.8%/3.8%	1.2%/3.8%
	23:05	米 ウィリアムズ・ニューヨーク連銀総裁 講演	-	-
1月19日	0:00	米 ミシガン大学消費者マインド	1月 96.8	98.3
	1:00	米 ハーカー・フィラデルフィア連銀総裁 講演	-	-

東京	東京時間のドル円は109.05レベルでオープン。朝方は109円付近で揉み合うも、同水準では戻り売り圧力も強く、ドル円は108.83まで下落。後場に入り、軟調に推移していた日経平均株価が下げ止まると、再び109円台まで上昇。その後は方向感なく推移し、108.90レベルで海外市場へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は108.90レベルでオープン。米大手銀決算で、第4四半期利益が予想下回り、不調に終わったこと等から、小幅に売られ、108.74レベルでNYに渡った。ユーロは1.1389レベルでオープン。ラテンシュレガー-ECB専務理事が、最近のインフレと成長率の鈍化は想定内で、利上げ見通しに影響するものではないとの認識を示したことから、1.1406まで堅調に推移。1.1402レベルでNYに渡った。ポンドは1.2870レベルでオープン。日製造業大手の、英原発建設計画の凍結決定等を受け、序盤、1.2833まで下落するも、英労働党党首が演説の中で、2回目の国民投票実施支持に含みを持たせると反転。1.2910まで買われ、1.2906レベルでNYに渡った。英銀の融資状況に関する四半期調査から、第4四半期に無担保貸付金需要を示す指数が12年ぶりの低い水準となり、個人消費の減退が示唆されたものの特段の反応は見られなかった。(ロンドン・トルジャー00531 444 179 マクルヒル)
ニューヨーク	ドル円は108.74レベルでNYオープン。朝方は、米1月フィラデルフィア連銀景況指数が予想を上回り、新規失業保険申請件数がやや予想を下回ったことから、108.89まで戻す。その後はクォースFRB副議長が「米経済はまだまだとても強い」、「低インフレ、強い労働市場はよい環境である」と話したこと等から米金利が上昇する動きに、109.10まで上昇する。その後しばらくは狭いレンジでの推移が続くが、午後に入り「米国は市場を沈静化させる為に中国への関税一部緩和を検討」と米紙が報道したことから、ドル円は109.40まで急伸するが、ムニッヒ米財務長官が報道を否定したことから、109.13まで反落する。終盤に掛けては、高値圏での推移が続き、109.25レベルでクローズした。一方、ユーロは1.1402レベルでNYオープン。朝方は強い米経済指標などを受けたドル買いに1.1383まで反落する。その後一旦買い戻される局面もあったが、再びドルが買われる展開に1.1370まで下落する。午後は狭いレンジでの推移が続いたが、前述の中国への関税に関するヘッドラインを受けユーロ円が上昇する展開にユーロも1.1400まで戻す。終盤に掛けては1.1390付近での推移が続く、1.1390レベルでクローズした。(NY井上)

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	108.70-110.00	1.1350-1.1450	123.50-125.00

【マーケットインプレッション】

昨日海外時間のドル円は底堅い展開。米企業決算を嫌気して、欧州時間こそ軟調に推移したが、米国時間に入って発表された各種経済指標が良好な内容になったことに加え、米中貿易摩擦に関連し、一部報道機関が米国が中国への関税引き下げを検討と報道されたことも相場を下支えする展開。本日のドル円相場も、米中貿易摩擦に関連した楽観論を背景に、マーケットのリスクセンチメントが改善する中、底堅い展開が継続しよう。一方で心理的な節目となる110円台乗せには一段の材料が必要となろう。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:末木・森谷